



# MITSUBISHI ELECTRIC

## 三菱全密閉形コンデンシングユニット用 ヒータ 取付説明書

M-E11BH  
(M9A(W)-E08、E11LATA用)  
(M9A-E06LATA用)  
M-E15BH  
(M9W-E15LATA用)

### 1. 内容物の確認

この箱には、下記のものと同梱されていますので、ご確認ください。

- ヒータクミタテ (固定用スプリング付) 1個
- 取付説明書 (本書) 1枚
- ヒューズクミタテ 1個

### 2. 取付要領

取付は、本ヒータ取付コンデンシングユニットの工事説明書及び下記ヒータ取付要領に従い正しく行ってください。

<ヒータ取付要領>

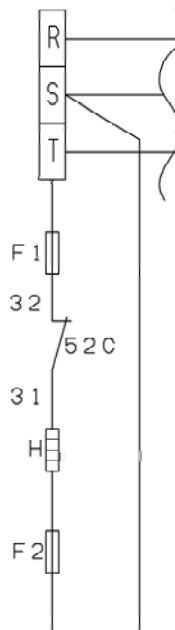
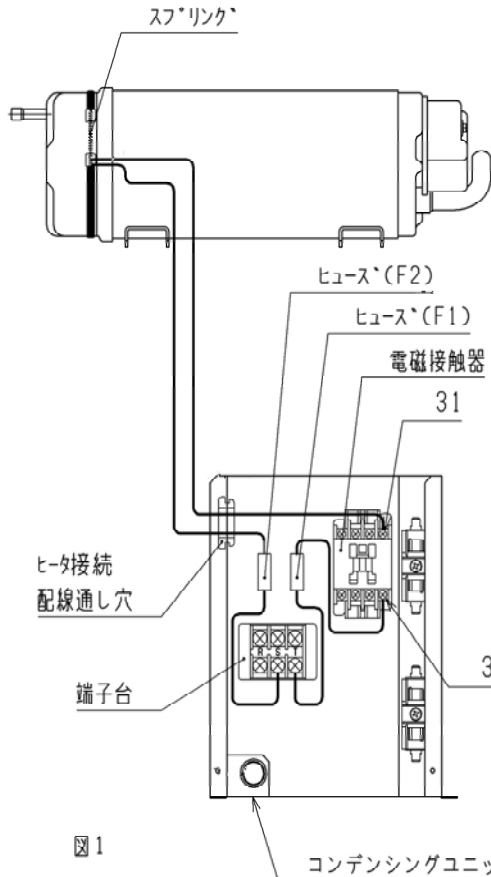
図1の要領でヒータを圧縮機に取付けてください。さらに図2の配線図に従って配線してください。

#### ヒータの取付

ヒータの平面部 (図3) を圧縮機平面部に隙間なく巻き付けて付属のスプリングで固定してください。この際、配線や配管などはさみ込まないように注意ください。

#### 配線方法

ヒューズクミタテ (F1) 及びヒータクミタテ (H、F2) を下図のように配線してください。



記号	名称	仕様
F1	ヒューズ	ヒューズ 定格 250V 5A
F2	ヒューズ	ヒューズ 定格 250V 5A
H	ヒータ	定格 200V 27W(M-E11BH) 定格 200V 25W(M-E15BH)
52C	電磁接触器	-

◇ヒータクミタテ (H、F2) からの配線はコンデンシングユニット制御箱の配線通し穴を通し、電磁接触器の31番と端子台Sに配線してください。その時、配線は吐出配管や板金エッジに接触することがないように注意してください。

またヒューズが付いている配線は必ず端子台Sに配線してください。

◇ヒューズクミタテ (F1) は電磁接触器の32番と端子台T周りに配線してください。

◇ヒューズ (F1、F2) はコンデンシングユニット制御箱内に納めてください。

図1

図2

図3

### 3. 注意事項

半日以上電源を切った後に、再運転する場合はその前に少なくともコンデンシングユニットに3時間以上通電させてください。コンデンシングユニットに通電することにより、ヒータが通電され圧縮機内への冷媒寝込みを防止できます。

ヒータ断面

